

会議録

- 1 会議の名称 令和4年度 川根本町商工観光委員会
- 2 会議日時 令和5年3月27日(月)午前9時30分から午前11時45分まで
- 3 開催場所 役場総合支所(北部地域振興センター)2階 会議室
- 4 出席者氏名
 - (1) 委員(50音順) 井澤光宏、石山貴美夫、神田優一(委員長)、堀美千恵
前田孝一(副委員長)、望月孝之、山下良子
 - (2) 執行機関 町長 藺田靖邦
観光商工課 中野裕文、北村浩二、服部了士、高畑良成

5 議事

- (1) 令和4年度 商工業関係事業について
- (2) 令和4年度 観光振興関係事業について
- (3) 令和5年度事業について(春夏秋冬地域活性化事業)
- (4) 観光戦略プランについて
- (5) その他

6 会議資料の名称

- (1) 令和4年度 商工業関係事業について
- (2) 令和4年度 観光振興関係事業について
- (3) 令和4年度 音戯の郷関係事業について
- (4) 令和5年度事業について(春夏秋冬地域活性化事業)
- (5) 観光入込状況

7 会議の内容

(1) 委員長挨拶(要旨)

年度末もあと1週間となり大詰めである。町のあちこちで桜が咲いている。3月13日からマスク着用は個人の判断となり、長らく続いたコロナ禍からの脱却が期待される。委員の皆様にはそれぞれの立場で建設的なご意見をいただきたい。

(2) 町長挨拶(要旨)

令和5年度当初予算も承認された。昨年の台風被害からの復興や大井川鐵道のことなど、さまざまな課題が山積している。皆様のご支援をいただきながら進めて行かなければならない。どうか、ご理解ご協力をお願いしたい。

(3) 議事

委員長により議事進行。委員長が商工業振興事業について事務局から説明を求める。

① 令和4年度の観光入込状況について

商工業振興事業説明の前に、観光入込状況について観光入込調査表を基に事務局が説明。

(補足説明)昨年9月23日の台風被害による大井川鐵道の運休などの影響により、5割から7割の減少が見られた。特に寸又峡は「夢のつり橋」への遊歩道崩落があり落ち込みが激しい。1月14日に夢のつり橋が応急復旧をし、2月にかけてやや回復した。奥大井湖上駅周辺については、星空列車の運行や、ブラタモリなどテレビ放送もあり、入込みが増えている。

② 令和4年度商工業振興事業について

資料に基づき、商工業振興事業について担当が説明。

③ 令和4年度観光振興関係事業について

資料に基づき、観光振興関係事業について担当が説明。

委員長が令和4年度事業について委員から質問・意見を求める。

発言がなく、次の議事へ。

④ 令和5年度事業について(春夏秋冬地域活性化事業)

資料に基づき、令和5年度事業について担当が説明。

委員長が事業について委員から質問や意見を求める。

(委員)山犬段への登山客バス輸送をやるようだが、現在の林道通行止は解除にはならないということか。

(町長)崩落現場の対策工事は手を付けられず、まだまだ危険な状態である。このため、一般車を通行させることができずバス輸送を計画した。崩落個所の復旧については、来年度、測量の予算を計上したが、崩落の規模が大きく、すぐに工事というわけにはいかない。

(委員)早期の通行止め解除を期待したい。

(委員)奥大井湖上駅のレイクコテージにウッドデッキを設置するのはいいことだと思うが、来場者に対してトイレのキャパシティが足りていない。トイレの改修計画はあるか。

(事務局)レイクコテージのトイレは一昨年の令和2年に、便器を1台から2台に増設し

ている。これ以上の増設は浄化槽の容量も拡大しなければならず難しい。
(委員) 先日の星空列車運行時も、大変トイレが込み合った。ドア鍵の不具合もあった。
(事務局) トイレドア鍵の不具合は把握しており、すでに修繕を手配済みである。今後も
トイレ利用状況を観察し、繁忙期には仮設トイレ設置などの対応を検討したい。
(委員) 私も星空列車に参加したが、トイレは2つあるので大丈夫のように感じた。ウッド
デッキを作り景観も良くなるなら、より客が増えるよう宣伝をしてほしい。

(委員) 山犬段への登山客輸送の計画は、バスの便数は何便か、また料金はいくらか。
(事務局) 具体的な料金はまだ決まっていない。昨年、試験的にバスを走らせたが、未
舗装路のため道路状況が悪く、中型バスでは通行が困難であった。車両につい
てはマイクロバス程度が最適であると考えているが、より小さい10人乗りのジャンボタク
シーになる可能性もある。車両によって定員が異なることから、運行会社と協議し、
料金は採算を考え決定したい。来年度は試験運行の要素が強く、ニーズを探り便
数および料金については検討したい。

(委員) 春夏秋冬にまんべんなく事業を展開することは分かったが、これらの事業をどの
ようにPRしていく計画があるか。
(事務局) PR 媒体として、ホームページや LINE などあるが、各事業の詳細な内容が決
まり次第、随時発信していきたい。特に、台風15号被害からの復興ということでマ
スコミへのPRを重視したい。
(委員) PR 不足では、せっかくの計画も意味がなくなる。切り口として春夏秋冬での事業
展開の考え方は非常にいいと思う。四季折々の町の魅力と合わせ、この事業で何
を訴えるのか、ぜひ工夫してPRしてほしい。
(町長) これまでの町からの情報発信は決して十分なものでなかった。改善していきたい。
LINE アプリも町の人口以上の登録がある。

(委員) 情報発信の勉強会などはあるか。
(事務局) 関連機関と連携し実施を検討したい。

(委員) 来年度の LINE クーポン事業で、参加店舗を期間ごと分けて実施する計画だと
聞いたが、実施している店舗としていない店舗の区別がつかず、利用客が混乱し
ないか。
(事務局) 実施していない店舗は LINE アプリ上で表示されないため、そういった混乱は
ないかと思う。
(委員) 利用客は必ずしも LINE で確認していない。お店に行ったが実施していないなど
の苦情が出るのではないかと思う。
(事務局) 前回そういった苦情の情報はなかったが、実施店舗での、のぼり旗の設置な
どを検討したい。
(委員) 先ほどの資料では若者の利用率が少ないようだったので、若者の利用が多くな

るような工夫を期待したい。

(委員) 宿泊客やキャンプ、施設利用者が町内で買い物してくれるような PR をしていただきたい。

(委員) 先ほどの説明で VR を使ったイベントを実施すると聞き、奥大井音戯の郷がすごく変わる印象を受け、すごく楽しみである。この町で大手テーマパークのような体験ができるとは考えてもみなかった。

(事務局) 今回の企画は、ぜひ町民の皆様にご体験していただきたいと考えている。

(委員) 体験できる画像はいくつかあるのか。

(事務局) 種類はいくつかあるが、今回はファミリー向け、特に小さい子どもも楽しめる内容を計画している。音戯の郷に来ていただくきっかけにしたい。

(委員) 夏休みなど休暇に孫が遊びに来て、町内には連れて行く場所がないと感じていた。この試みはすごくいいと思った。さっそく、他の人にも知らせたい。

⑤ 観光戦略プランについて

資料に基づき、観光戦略プランについて担当が説明。

委員長が事業について委員から質問や意見を求める。

(委員) この資料はあくまで概要で、これから細かい点を詰めていくということか。

(事務局) 今回の資料は概要版で、今後のパブリックコメントで詳細を公開し、広く意見を募る。

(委員) 観光戦略プランを作成するにあたり、例えば旅行雑誌の編集者など数多くの観光地を知るような、観光の専門家のような人、観光誘客のプロフェッショナルのような人がたずさわることはないのか。関係者だけで考えるよりも、もっと明確なものができるような気がする。観光地のイメージ確立などはすべてに影響する事項で、川根本町が今後何を観光の売りにしていくのかという方向性であり重要と考える。過去 10 年間の積み上げを見ながら、今後何をすべきか検討することが非常に重要。見る、体験する、飲食、宿泊の、それぞれの切り口をどう PR していくか。

(事務局) 計画策定の中に、委員が言う専門家は特に入れてはいない。観光資源の発掘、コンセプトの考案には専門家の意見を聞きながら事業を進めて行かなければならないと考えている。

(町長) 令和 4 年度事業に実施した人口流動システムの観光事業活用研究での意見も聞きながら案を作っている。専門家の意見も大事だが、現場を知らない知識先行型な考えでは困ると考えている。令和 4 年度は静岡市の観光部門に職員を派遣した。令和 5 年度は島田市観光協会へ職員を 1 名派遣する。近隣の静岡市、島田市と連携した観光事業も展開するよう考えている。

- (委員) 観光戦略プランの目標設定は大井川鐵道が運行している前提だと思うが、現在は家山駅から千頭駅の川根本町内の区間は鐵道が運行しておらず、バス代行運転を行っている。大井川鐵道の状況を教えてほしい。
- (町長) 大井川鐵道の運行は、災害復旧に多額の費用が掛かり難しい状況である。今後、国、県、島田市、川根本町、大井川鐵道、静岡市も入って協議していく。
- (委員) 大井川鐵道運行に関して町長が大変な交渉をしているのは承知し、ありがたいと思っている。大井川鐵道が復旧しなければ、町にとって大きな損失になる、これは誰もが分かっていることである。この町が残るか残らないかもわからない。本当にそう思っている。町内の商工業者、ましてや観光業で生計を立てる者にとっては死活問題である。新聞報道によると、家山～千頭のバス代行輸送は、1日に6便に減便され夏以降は町営バスへの移行との記事も見た。一方で大井川鐵道は、家山から笹間渡まで伸ばしてSLを運行すると聞いている。当然、地域輸送、生活輸送を優先することは理解できるが、まったく観光客の輸送は考えていないダイヤだと思っている。
- (町長) 3月までの電車代行バス運行費用は大井川鐵道が半分、町が半分負担しているが、4月からは大井川鐵道が運行を休止することとしたため、町が全額負担し運行する。4月からの電車代行バス運行は9便で、5月8日から6便に切り替える。9便のダイヤは現状と同じだが、6便のダイヤはまだ決定していない。
- (事務局) 代行バスについては、4月から大鉄がバス代行運転を休止するため、町民の皆様地域の交通を確保するために町で代行バスを運行することを検討しているということである。
- (委員) ゴールデンウィークに大井川鐵道で寸又峡に来たいというお客さんから電話があったが、お客さんが言うには、新金谷から家山までSLで行けるが、家山から先のバスのことは全く分かりませんと言われたようだ。3月13日にダイヤ改正があって、5月8日にまたダイヤ改正があって、これで条件が良くなっていくならお客さんも納得がいくが、条件が悪くなるようにダイヤを変える。お客様にどう説明すればいいのか。観光業にとって非常に厳しい状況だ。町の苦勞もよくわかるが、毎月毎月ダイヤが変わるような状況では、観光客は困ってしまう。こんな、観光客に対して無責任な観光地は、なくなってしまう。
- (町長) これまでのダイヤ改正は大井川鐵道が決定している。大井川鐵道が4月からバス代行を休止すると言った中で、我々がいろいろ考え今回の代行バス9便そして6便の運行案を作った。観光客の都合に合わせたバスダイヤがないと観光業の皆さんが困ることも承知している。大井川鐵道もSLが走る時間にはバス運行をすることも考えてくれている。今回、私たちは、第一に町民の足の確保を考えている。町として、県とも国とも話をしながら、大鉄の運行をどうしたらいいか協議を必ずやっていく。
- (委員) 秋の宿泊予約も入ってきているが、秋のダイヤはまだ決まっていない。お客様はどのような行程で来たらいいかも知ることができない。

(委員) おっしゃるとおり観光業は大変だと思う。大井川鐵道がバスを打ち切ると言ったので町は困り、とにかく大きな支出をして、緊急的に町民の生活の足だけは何とか確保した。観光客への配慮は現状では難しい状況と受け止めているが、観光客と関連した経済をどうしていくのかという部分について、相当真剣にやっていかなければならないし、即対応していただきたい。観光協会には、大井川鐵道ダイヤの周知と、鐵道がストップしたことに対する対応策を早急に作っていただきたい。

(委員) 今、観光協会への要望もあったが、ダイヤ改正の情報が入り次第、会員に情報共有しているが、運行について、それ以上のことがなかなかできるわけではない。大井川鐵道の問題をどう受け止めていくか観光協会内で議論はしている。

(委員) 観光協会は、会員へ情報提供することも大事だが、観光客への情報発信を重視してほしい。また、旅行会社、旅行雑誌など関連機関へ、鐵道は止まっているが春夏秋冬の事業を計画し観光客を大歓迎しようとしていることを情報発信してほしい。これから先、鐵道がどうなるか不透明だが、その間の緊急対策を何とかやってほしい。私たちも協力する。

(委員) 町の思いだけでは通らない、大変難しい問題で、費用もかかることから、鐵道に頼らない新しい発想で、観光事業を考えることも大事だと思う。

(委員) 9 便から 6 便に減り、町の費用でバスを運行するが、バスの大きさも変更になるか。

(事務局) 今と同じ大きさと考えている。

(委員) ダイヤ変更などは、早く情報を出していただければ、私たち事業者も情報発信していきたいと思う。

(事務局) 大井川鐵道も観光については何とか対応したいと言っている。ダイヤ改正について情報開示を早くするようお願いする。

(委員) 観光に関わる人にとっては死活問題で大変だと思う。大井川鐵道の問題はみんな努力を重ねている。みんなで協力して町を盛り上げようという合言葉で、やっていきたいと思う。

⑥ その他について

委員長がその他の議事があるか確認するがなし。

委員長がこれ以上の発言がないことを確認し、議事を終了。

午前 11 時 45 分閉会

上記に相違ないことを確認する。

委員長 神田 優一